

指定管理者モニタリングシート（平成30年度分）

施設の名 称	富里市こども館（葉山キッズ・ランド）
施設の設置目的	児童福祉法（昭和22年法律第67号）に基づく児童の健全育成及び子育て支援の推進を図る。
施設の概要	【所在地】 富里市御料 923 番地 1 【構造】 木造平屋建て 敷地面積 1,079.78 m ² 建築面積 501.53 m ² 延床面積 447.86 m ²
施設所管課	健康福祉部子育て支援課
指定管理者	株式会社 明日香
指定期間	平成29年4月1日から平成32年3月31日
指定管理業務	(1) 子育て支援センター事業 (2) 一時保育事業 (3) 放課後児童健全育成事業 (4) 各事業の利用許可及び利用料徴収に関すること (5) 子育て支援に関する独自事業を行うこと (6) こども館の施設管理に関すること

■実績

①開館日数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
H29	24	24	26	25	26	24	25	24	22	23	23	26	292
H30	24	24	26	25	26	23	26	24	23	23	23	25	292
H31													

②利用者数(子育て支援センター事業)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
H29	841	1,176	1,403	1,399	1,339	1,586	1,561	1,375	1,116	1,018	1,182	1,494	15,490
H30	1,238	1,375	1,449	1,424	1,317	1,209	1,249	1,103	988	941	897	1,415	14,605
H31													

■評価項目評価基準

評価	評価基準
S（優良）	協定書等の基準を遵守し、その水準を上回る内容である
A（良好）	協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿う内容である
B（課題あり）	協定書等の基準を遵守しているが、一部に課題がある
C（要改善）	協定書等の基準が満たされておらず、改善が必要である

1 業務の履行状況の確認

① 事業及び業務の履行状況

評価項目	指定管理者	施設所管課	
	自己評価	評価	特記事項
1. 協定書等で定める開館日、開館時間が遵守されているか	A	A	
2. 利用申請・許可、利用料金等の徴収、減免の取り扱いが適正か	A	A	
3. 施設の利用状況（利用者数、利用率等）は適切な水準か	A	A	
4. 協定書等で定めた職員配置となっているか	A	A	
5. 配置されている職員は必要な資格を有しているか	A	A	
6. 適正な雇用・労働条件が確保されているか	A	A	
7. 緊急時の体制整備がされ、職員に周知徹底されているか	A	A	
8. 緊急連絡網や危機管理マニュアルは、最新の状態に保たれているか	A	A	
9. 避難誘導訓練等は実施されているか	S	S	
10. 協定書等で定めた保険に加入しているか	A	A	
11. 苦情対応に関する体制が整備され、職員に周知徹底されているか	A	A	
12. 個人情報適切に管理されているか	A	A	
13. 市への報告や各種報告書の提出が適切な時期になされているか	A	A	
指定管理者記入欄			
<p>【新たに実施した取組み・改善した点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用申請や許可については、利用者の方に公平に使用して頂けるよう随時、市と協議を行っており、減免の取り扱いについても、市と連携をとりながら適正に利用できるように対応した。 ・一時保育利用希望者や低年齢児利用が多い場合には、保育士を3名配置し安全に保育できるように努めた。 ・支援センター、一時保育の職員は全員、保育士の資格を有している。 ・緊急対応時の体制強化 職員体制が変更になり、新たに緊急連絡網を作成した。昨年度と同様、緊急時・悪天候の場合でも、常勤や近隣の職員が出勤し施設の状況把握、開館が出来るような体制を整備している。 ・アレルギー児の一時預かりについては、アレルギーに関する情報や保育中の配慮など、職員間での共通理解を図り安全に過ごせるように努めた。また、症状が出た際に速やかな対応ができるよう消防機関への情報提供の申請を行った。 ・防災・防犯訓練の徹底 防災訓練を毎月、想定を変えて実施している。長期休みの際は、学童の子どもも参加できるように防災計画を立て実施した。また、緊急時に備え、利用者が安全に避難できるよう安全確保に配慮している。今年度は消防士立会いの元、訓練を行ない避難誘導時の指導を受け、防災知識を高めた。その他に、初めての利用者には施設の説明と共に、緊急時に備えた説明もしている。 ・アンケートによる声を元に、開館時間に合わせて室内温度を調節し、利用者が快適に過ごせるよう改善した。 ・個人情報の管理 個人情報は必ず鍵のかかる書庫に保管し、退勤する際、戸締り確認表にて再度確認を徹底している。 <p>【今後の取組み・課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員同士の伝達や情報共有を密に行うようにする。 ・アレルギー児の対応など、現状に合わせてのマニュアル更新を行っていく。 			

② 独自事業の実施状況

評価項目	指定管理者	施設所管課	
	自己評価	評価	特記事項
1. 事業計画書で予定した独自事業は実施されているか	A	A	
2. 独自事業の実施にあたり必要に応じて保険に加入しているか	A	A	
3. 独自事業の実施にあたり広報等を行い、利用者の拡大を図っているか	A	A	
指定管理者記入欄			
<p>【新たに実施した取組み・改善した点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中部包括支援センターとの交流 今年度も中部包括支援センターと連絡を取り合い、月に1度、地域の高齢者と利用者が交流を図れるようにしている。支援センターで行った「富里高校サマーコンサート」に招待したり、中部包括支援センターで開催する「お芋堀り」に招待されたり、去年より、交流の幅が広がりつつある。 また、中部包括支援センターとの交流の中で知り合った方を通して、「木もれび」によるオカリナ演奏会を実施して頂いた。演奏だけでなく、手遊び・体操を一緒に行い、地域の方との交流を楽しんだ。 ・学童クラブでは、ポッチャ・富里軽便鉄道に関する紙芝居などを取り入れた。地域の方と触れ合う機会を持ったことで、2020年に開催されるパラリンピックへの興味や、富里市に関する関心を高めることが出来た。 また、夏休みにプロジェクターを使用しての映画鑑賞や春休みに路線バスを利用して、成田市の栗山近隣公園への遠足を実施した。学童クラブでの遠足は、初めてだったので子どもたちも大いに喜んでいました。 ・ALTの受入 昨年度同様、長期休みの際に学童にALTの方を補助員として採用し、英語を使つての遊びや歌・挨拶など英語に触れる機会の提供を行った。子どもや保護者に大変好評だった。 ・一時保育 昨年度より未満児の利用希望が多いため、0歳児でも安全に過ごせるよう、環境整備を行う他、日々の利用年齢に合わせた保育内容及び対応を行った。連絡帳やお迎え時の報告で一日の様子をしっかりと伝え、保護者との信頼関係の構築に努めた。 ・季節の製作あそび 支援センターでは、センター室開放時に期間を設けて工作コーナー「季節の製作あそび」を設置し、予約不要で自由に参加できるようにした。今年度は6月から、製作に参加した際に、スタンプを押す「スタンプラリー」を始め、毎月職員が季節に合わせて手作りの消しゴムスタンプを作成した。製作と共にどんなスタンプが押せるのか楽しみにしてくれる親子が多くみられ、好評だった。参加していただいたお子様に頑張ったご褒美として、3月の制作遊びの際にシールのプレゼントを行った。年間を通して、親子共に楽しんで参加する姿が見られた。 ・防災訓練 消防署立会いの防災訓練を初めて行い、実際に避難する様子を見て頂いた。職員・利用者ともに防災意識が高まった。訓練後、葉山キッズ・ランドの駐車場で消防車・救急車の見学ができ、貴重な経験をすることができた。 また、通報訓練では昨年の反省を生かして職員間での役割を再確認しながら実施した。 ・葉山こども園との交流・連携 6月より、葉山こども園の園庭開放・交流会を実施、参加している。未満児用の園庭で遊んだ後、ホールにて園児による歌や遊戯・手遊びなどを披露していただいている。園児の年齢ごとの姿を見ることで、子どもの成長過程に期待が持てて楽しいと、好評である。ほか、葉山こども園行事「冒険の世界へようこそ」に招待してもらったり、防災訓練の際の消防車見学に招待し合ったり、支援センターで行なった「富里高校サマーコンサート」に年長組を招待するなど積極的に交流を行 			

った。葉山こども園との定期的な会議を設けることで、地域の子育て情報の共有や緊急時の協力体制の構築に努めた。

・英語であそぼう

支援センターの職員が、英語講師としての資格を取得し「英語であそぼう」を実施した。

・トイズクラブ

地域のボランティアグループ「とみさとトイズクラブ」と、おもちゃ文化を通しての交流会を実施。普段触れることができないような玩具を通して、年輩の方との関わりを楽しむ体験ができた。

・富里高校との交流

富里市唯一の高校、富里高校吹奏楽部による「サマーコンサート」を実施。

支援センター、中部包括支援センター、葉山こども園、近隣住民の方を招待し開催した。幅広い年齢層でも楽しめるよう、曲目や進行に工夫が凝らされており、楽器や生演奏に触れる貴重な体験をすることができたといった喜びの声が聞かれ、地域一体で交流の場を楽しむことができた。音響やスペース・運搬など心配な事が多かったが、富里高校・市役所の方・地域の皆様の協力を得て、無事に開催することができた。

・父親の子育て参加

父親が来館しやすい支援センターを目指し、父子で遊びに来た際に写真とコメントをもらい掲示させていただいた。

掲示することで、父親の支援センター利用が周知され、父子または家族での利用が増えた。12月に「お父さんと一緒に3B体操」を行った。普段、子どもと触れ合う機会は少ないので楽しい時間を過ごせたと好評だった。

・葉山公園

職員有志の「葉山公園をきれいにする会」では、隣接している公園の管理を行い、毎朝、清掃をしっかりと行っている。

また、遊具の安全点検や砂場の管理・植木の害虫駆除・犬、猫の糞の始末などを行っている。また、公園の使い方についてのお知らせを掲示するなど、利用者が気持ちよく使えるようにしている。

・ワールドライブラリー

7月より、ワールドライブラリーを導入した。3ヶ月に1回、世界の絵本が10冊届くシステムで、世界中の出版社の優れた絵本を翻訳したものに触れ、世界を知るきっかけ作りになった。日本の絵本とは違うイラストや内容・仕掛け絵本などが子ども達にとっては新鮮で、飽きることなく楽しんでた。また、12月にワールドライブラリーによる大型絵本のお話をを行った。カードづくりのワークショップも併せて行い、絵本の内容のカードづくりを行うことで子どもたちも絵本の世界をより楽しんでいる様子が見られた。

・利用者負担事業「イライラしないママになる魔法」

利用者より費用を一部負担していただき、託児付きでママ向け育児講座の開催を行った。支援利用者の要望に合わせた内容の講座だったため参加した方には、楽しく学べたという声が聞かれた。ここで集めた費用に関しては、利用者に還元できる形にしていきたいと思う。また、次年度も利用者の要望を聞き実施していきたいと思う。

【改善点・今後の取組み】

・北部地区の充実

北部地区に支援センターがない為、北部コミュニティセンターでの移動支援が喜ばれている。今年度は北部地区の充実の一環として、アクセスが良く、利用しやすい新木戸大銀杏公園での移動支援を11月・3月に計画したが、天候不良のため中止となった。次年度に引き続き計画し実施していく。

・利用者負担の事業について

今年度実施したように、次年度も利用者の要望に合わせた形で育児講座の開催を行っていく。

また、低年齢児に負担がないよう講座時間を検討していく。

・セブンイレブン助成金の活用

職員有志の「葉山公園をきれいにする会」で応募した、セブンイレブン環境市民活動助成金を活用して、花の苗・プランターの購入を行った。今後、葉山キッズ・ランド利用者と共に苗植えや水やりを通して公園に緑を増やしていきたいと思う。

③ 施設の維持管理状況

評価項目	指定管理者	施設所管課	
	自己評価	評価	特記事項
1. 協定書等で定める保守管理業務が適切に実施されているか	A	A	
2. 協定書等で定める清掃業務が適切に実施されているか	S	A	
3. 協定書等で定める施設の管理業務が適切に実施されているか	A	A	
4. 備品購入を行った場合、備品台帳を整備するなど適切に管理されているか	A	A	
指定管理者記入欄			
<p>【新たに実施した取組み・改善した点】</p> <ul style="list-style-type: none"> 各点検表を用いて、月1度、施設内点検と室外機の点検を行なっている。今年度は、各事業の日誌の他に、管理日誌も取り入れ、毎日、施設外・施設内・掃除の点検も行なっている。 7月 清掃業者による、床の全面清掃を実施した。 3月 清掃業者による、エアコンのフィルター掃除・換気扇掃除を実施した。 			
<p>【改善点・今後の取組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> 外装の掃除 ・カーテンのクリーニング 			

2 サービスの質に関する評価

① 基本的事項

評価項目	指定管理者	施設所管課	
	自己評価	評価	特記事項
1. 利用者に対する言葉遣いや態度等の接遇が適切であるか	S	S	
2. 広報物が見やすく作成され、効果的な情報提供を行っているか	A	A	
3. 職員の資質向上のための研修等を実施しているか	S	S	
指定管理者記入欄			
<p>【新たに実施した取組み・改善した点】</p> <ul style="list-style-type: none"> 研修会に参加し、資質向上に努めた。 <ul style="list-style-type: none"> 「発達障害児など配慮を必要とする子どもへの支援」 「妊娠期から生後6ヶ月期の子育て支援の必要性～母親・母体」 「市町村相談員及び子育てサポーターリーダー等のための家庭教育研修講座」 「子育て支援担当者研修会」(視察研修) 「安全管理研修」「紙芝居講座」(明日香主催) 「子育て支援拠点施設担当者研修」 イベント情報や、イベントでの様子など、利用者にわかりやすく館内に掲示している。ホームページやSNSでも掲載し、積極的に外部へ発信を行っている。 			
<p>【改善点・今後の取組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> 今後も職員の資質向上のために、研修への参加を推進していく。 			

② 維持管理業務

評価項目	指定管理者	施設所管課	
	自己評価	評価	特記事項
1. 施設は清潔に保たれ、整理整頓がされているか	S	S	
2. 事故の未然防止のため、定期的に設備や備品の確認を行っているか	A	A	
3. 文書管理に関する規定を定め、文書が適切に管理・保管されているか	A	A	
4. 電気、水道等の使用量削減など、環境に配慮した取組がされているか	S	A	
5. 管理運営費節減のための取組がなされているか	A	A	
指定管理者記入欄			
<p>【新たに実施した取組み・改善した点】</p> <ul style="list-style-type: none"> 新たに管理日誌を取り入れ、毎日、施設外・施設内・清掃点検を行なっている。 節電への取組みなど、職員一同、経費削減に努めている。 			
<p>【改善点・今後の取組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> 今後も各事業、稼働時間以外の節電に努めていきたい。 			

③ 運営業務

評価項目	指定管理者	施設所管課	
	自己評価	評価	特記事項
1. 平等な利用を確保し、公平な運営を行っているか	A	A	
2. 独自事業の実施にあたり、事前調整や広報など円滑な実施に努めているか	S	S	
3. 利用者満足度を向上させるための方策を講じているか	A	A	
4. 利用者アンケートの結果を業務改善に反映させているか	S	S	
5. 自己評価を実施し、管理運営の見直しや業務の改善を行っているか	A	A	
6. クレームに対して適切に対応し、以降の運営に活かされているか	A	A	
7. 利用者同士の交流、気軽に子育ての相談ができる環境作りを行っているか	A	A	
8. 施設を子育てネットワークの拠点として活用しているか	S	S	
指定管理者記入欄			
<p>【新たに実施した取組み・改善した点】</p> <ul style="list-style-type: none"> 去年、行なったアンケートで「生の演奏に触れたい」という要望を元に、「サマーコンサート」を開催した。「0歳児が利用できる日を増やして欲しい」という声から、0歳児のみ利用できる日の他に育児講座を設定し、利用できる日を増やした。利用者の要望による「ママヨガ」の開催や「イライラしないママになる魔法」の育児講座の開催を行った。 育児講座・イベント利用者アンケートの実施 今年度は育児講座・イベントの後に簡単な感想を頂いた。利用者の声を元に、今後活かしていけるようにしていく。 平等な利用・公平な運営 一時保育事業では、公平・公正に利用していただけるように、昨年度と変わらず、予約受付の際に目的を確認し、なるべく多くの方に利用できるように配慮した。利用申請について、不明瞭な事があった場合は、市に相談し、平等に利用していただけるようにした。 利用者同士が交流しやすく、子育ての相談がしやすいよう穏やかな雰囲気を保ち、居心地良くすごせるよう配慮した。また、利用者同士が関わりやすいような環境作りを目指している。 <p>※独自事業については ②独自事業の実施状況に記載。</p>			

【改善点・今後の取組み】

- ・今年度のアンケート結果を元に、より良い運営に取り組んでいきたい。
- ・今年度の利用状況を分析し、より年齢にあった講座や支援・活動を検討していく。

3 サービス提供の継続性及び安定性に関する評価

① 施設運営及び事業収入の状況

評価項目	指定管理者	施設所管課	
	自己評価	評価	特記事項
施設運営及び事業収入の状況			
事業収支について収支計画書と乖離がないか	A	A	
管理運営経費は内訳も含め妥当であり、適正に執行されているか	A	A	
指定管理者の経営状況			
監査報告書に異常な指摘事項はないか	A	A	
財務諸表に異常値がなく、前期比変化が大きい場合、その理由は妥当か	A	A	
指定管理者記入欄			
<p>【特記事項】</p> <p>残念ながら助成対象とはならなかったのですが、助成金を活用し学童クラブ利用児童の運動遊びの向上を目的として「夢まる福祉支援事業」に応募しました。今後も、助成金を活用して利用者へのより良いサービスが提供できるように努めていきたいと思っております。</p>			

■総合評価基準

評価	評価基準
優良	すべてが A または S であり、S が 4 割以上である。
良好	A または S が 8 割以上で C を含まない
一部課題あり	すべてが B 以上の評価である
要改善	評価項目に C が含まれている

■総合評価

指定管理者		施設所管課	
総合評価 (自己評価)	良好	総合評価	良好
<p>【成果・向上を図った点】</p> <p>運営開始から2年、市民の方々に多くご来館して頂き、日々利用者からの温かいお言葉を頂き、職員も大いに励まされている。</p> <p>3年目もこれまでの経験を活かし、利用者の声に耳を傾けながらニーズに合わせた支援事業を実施していく。利用者に長く愛されるこども館運営を目指していきたい。</p> <p>施設維持管理の点検や状況把握の徹底をし、職員全員が安全確保に努めた。</p> <p>職員に関しては、専門知識だけではなく、他の施設見学や現場に即した研修会などにも参加し、資質向上に努めている。</p> <p>個々の事業において、特に力を入れて行なったのが、「地域交流」「独自事業」の2点である。</p> <p>「地域交流」においては、大きなイベントとして、富里高校の吹奏楽部を招き「サマーコンサート」を実施した。</p> <p>また、昨年度から実施している「中部包括支援センターとの交流」では、中部包括支援センターで開催する「お芋掘り」に招待して頂いたり、昨年度よりも交流の幅が広がっている。</p> <p>また、中部包括支援センターとの交流の中で知り合った方を通して、「木もれび」によるオカリナ演奏会を実施して頂くなど、地域交流の輪が広がった。引き続き、地域のつながりを大切にし、より地域に愛されるこども館を目指していきたい。</p> <p>「独自事業」ということで、新たに、ワールドライブラリーを導入した。12月には、ワールドライブラリーによる大型絵本のお話会とカードづくりのワークショップも行った。絵本の内容に沿ったカードづくりを行うことで子どもたちも絵本の世界をより楽しんでいる様子が見られた。</p> <p>また、利用者より費用を一部負担していただき、託児付きでの育児講座の開催を行った。支援利用者の要望に合わせた内容の講座開催だったため、参加した方には、楽しく学べたという声が聞かれた。次年度も利用者の要望に合わせた育児講座の実施をしていきたいと思う。</p> <p>その他に、利用者アンケート元に「ベビーチェアの表示案内」や「ヨガの開催」「ままごとコーナーの充実」などの要望があったので、表示案内の作成や環境設定の工夫をするなど、こども館をより利用しやすくなるよう心掛けた。</p> <p>今後も利用者様の意見をもとに、ニーズに合わせたこども館の</p>		<p>【評価すべき点】</p> <p>利用者の声を取り入れながら各種事業が実施され、利用者の拡大や利用者満足度の向上に繋がる取り組みがなされています。</p> <p>また、妊婦の利用が少ないという課題に対して、母親学級の会場として支援センターを利用したり、北部地区に対する子育て支援策として、新木戸大銀杏公園での移動支援の計画や父親の来館を増やすための取り組みなど、これまでの運営から見えてきた課題に対する対応がなされている点について高く評価します。</p> <p>以前に指摘した適正な利用者負担や収入増についても、助成金の活用や育児講座で費用負担を求めるなどの取り組みがなされています。</p> <p>これまでに行ってきた中部包括支援センターや富里高校との活動など地域との繋がりがさらに広がりを見せており、子育てネットワークの拠点としてこども館が活用されている点についても評価します。</p>	

<p>運営を心掛けていきたいと思う。</p> <p>また、一時保育では低年齢児（0.1歳児）の利用が増加傾向にあるので、保育室の環境設定を配慮する他、保育士を増員して3人体制で対応するなどして子ども達が安全に過ごせるよう、また親御さんが安心して預けられるよう努めている。</p> <p>アレルギー児の預かりについては、アレルギーに関する情報や、保育中の配慮点について共通理解を図る、消防機関への情報提供申請を行うなど安全に配慮し保育している。</p> <p>今後も予約状況や利用者の声に寄り添いながら、柔軟に対応し安心して利用できるように引き続き努力していきたいと思う。</p>	
<p>【課題・今後に向けて】</p> <p>利用者アンケートにケガや病気の対応について知りたいという声があったので、応急手当や乳幼児の感染症が学べる講座の開催を検討していく。</p> <p>また、今後の取り組みとして表現を楽しめるコーナーを設置し塗り絵やお絵かきなどじっくりと楽しめる場を提供していく。</p> <p>市で開催している、母親学級を年4回支援センターにて実施の予定。親子だけでなく妊婦さんでも利用できることをより多くの方に知ってもらえるような機会にしていく。</p> <p>支援センターで、資源回収を実施し資源の再利用の促進を行う。</p> <p>センターだよりを一月ごとに変更し、見やすくより正確な情報を利用者に向けていく。</p> <p>セブンイレブン環境市民活動助成金を活用して、花の苗・プランターを購入して、施設利用者と共に苗植えや水やりを通して公園に緑を増やしていきたいと思う。</p>	<p>【課題・今後に向けて】</p> <p>限られた設備や人員の中にあっても、ニーズの把握に努め、これまでの運営の中で得られたノウハウを生かしながら、さらなる創意工夫を行って、利用者の拡大や満足度の向上を図ってください。</p> <p>また、アレルギー児に対する丁寧な対応や一時保育の人員の増員など安全に対する取り組みを行っていただいているところですが、今後も安全安心な保育環境の整備について最大限の配慮を行い、事故のない運営をお願いします。</p>